

杏花里在宅介護支援センター

1、総括

杏花里在宅介護支援センターでは、5名の介護支援専門員（うち4人主任介護支援専門員）を配置。特定事業所加算Ⅱを算定し、令和7年度は月平均186.5件、稼働率92.8%と昨年度平均よりも2%弱増加している状況です。

昨年同様に介護サービスが増大、多様化し慢性疾患や複数の疾患、終末期の方も増え医療、介護の複合ニーズも持つ利用者が多くまた、精神疾患を持つ利用者、家族も増えてきており、幅広い医療の観点を踏まえたケアマネジメントの重要性が高まっています。職員の基礎資格が介護福祉士であることから医療面の弱点を克服できるように今年度も積極的に研修にも参加しまた、MSCなどのツールも利用して医療とのつながりを強化いたしました。

介護支援専門員は対人援助職者であることを念頭に置き、利用者・家族等と接する場合は失礼がない言動を常に考えて業務に取り組み、困難事例等のケースについても、問題の明確化や対応方法などの検討を随時行い、事業所内だけでなく地域包括支援センターとも情報の共有を図り日々研鑽に努めております。

次年度も様々なケースにも対応できるスキルを身に着け、利用者、家族に満足していただけるよう努める事をお約束して令和7年度の事業報告とさせていただきます。

2、重点取組の成果と課題

重点取組実施項目	実施内容と成果について	次年度への課題
医療連携の強化	家族からの入院報告を受けられるようになり入院情報連携Ⅰ、Ⅱの算定を引き続き算定できている。医療相談員と電話等で生活状況を共有し情報収集に努めた。	入院情報連携Ⅰを算定目標とし迅速に医療機関と連携を図り受診の同席をおこない担当医と顔の見える関係を広げ、昨年度同様によりよいケアマネジメントを行う。
資質の向上	研修の形式が増えたことで業務調整し参加できる機会が増えた。保険者からの情報を共有し理解を深めた。	オンラインでの開催が継続、増加しており、より多くの研修に参加して、情報共有に努める。

3、利用実績 介護支援専門員当たり（常勤換算方法）の担当利用者数40名（R6年6月～）

（単位：人） 総合計数は、要支援1.2は1/3でカウント（6月～）

	要支援 1.2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総合計	稼働率 (%)
4月	4	93	50	26	15	5	190.3	95.1
5月	4	92	50	32	16	4	195.3	97.6
6月	4	93	47	30	19	4	194.3	97.1
7月	3	96	46	24	19	4	190	95
8月	3	96	46	21	20	4	188	94
9月	7	94	44	19	22	5	186.3	93.1
10月	6	95	43	19	24	5	188	94
11月	6	89	43	22	27	6	189	94.5
12月	6	89	44	23	25	4	187	93.5
1月	6	87	38	24	21	4	176	88
2月	5	91	34	23	18	3	170.6	85.3
3月	6	93	35	25	16	3	174	87
合計	60 (30)	1108	520	288	242	51	平均200件 2239	平均 92.8%

4、事業実績

新規受け入れ総数	86人	居宅内会議	(週1回程度)
困難事例受け入れ件数	9件	杏樹会連絡会議	(3ヵ月に1回)
入院時情報連携Ⅰ	12件	西部地区運営会議	(1ヵ月に1回)
入院時情報連携Ⅱ	23件	杏花里サービス部分科会	(1ヵ月に1回)
地域ケア会議の参加	7回	BCP委員会	(1ヵ月に1回)
見守り、相談件数(延べ人数)	5318人	虐待委員会	(1ヵ月に1回)
実習生受け入れ体制	2人	感染防止委員会	(3ヵ月に1回)